

美術科教育法Ⅰ

2単位 2年(前期)

平木 美鶴・教授/社会創生学科

【授業目的】高等学校の学習指導要領美術・工芸を理解して学習指導案を作る

【授業概要】この授業は、美術教員の免許取得のための科目である。学習指導要領の高等学校美術科教育について知識を深めるために、高等学校学習指導要領美術・工芸に沿った学習目標を立て、学習指導案を作り、それに従い模擬授業を行い、知識と実践を伴った学習を進めて行く。

【キーワード】美術, 教育

【関連科目】『美術科教育法Ⅱ』(0.5)

【履修上の注意】予習や宿題を確実にすること。

【到達目標】高等学校学習指導要領美術・工芸を理解し授業案を作る事ができる。

【授業計画】

1. 指導案の書き方について
2. 授業実習1, 指導案の添削「目的について」
3. 指導案の添削「題材設定について」
4. 指導案に沿って授業を行う. 1
5. 指導案に沿って授業を行う. 2
6. 指導案に沿って授業を行う. 3
7. 授業実習2, 指導案の添削「目的について」
8. 指導案の添削「題材設定について」
9. 指導案の添削「授業の展開について」
10. 指導案の添削「授業の展開について」
11. 指導案に沿って授業を行う. 1
12. 指導案に沿って授業を行う. 2
13. 指導案に沿って授業を行う. 3
14. 指導案に沿って授業を行う. 4
15. 指導案に沿って授業を行う. 5
16. まとめ

【成績評価】学習指導案作りの理解を評価として、出席や授業への取組み姿勢等を併用して行う。

【再試験】行わない

【教科書】教科書は、新学習指導要領中学校美術、新学習指導要領高等学校芸術を使用する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218960>

【連絡先】

⇒ 平木 (103, 088-656-7167, hiraki@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月曜日 12時~13時)